



地域連携だより

診療科紹介

循環器内科

ごあいさつ 『元気なシニアライフのために。』

内科部長 川島 明代志

人口の高齢化に伴い、心房細動の患者数が増加し、現在約100万人と推定されています。心房細動は、動悸や息切れを起こすだけでなく、脳梗塞発症の原因となり、重篤な後遺症や死亡の原因となります。当院では従来の薬物治療に加えて、心房細動に対するカテーテルアブレーション（根治術）を2012年より開始し、着実に実績（根治例）をあげています。高度の技術を必要とするカテーテルアブレーションのため、エキスパートドクターの協力を得て、当院のスタッフが一丸となって治療にあたっています。循環器診療は高度に専門分化しているため、PCI（冠動脈ステント植え込み術など）はできても、不整脈に対するアブレーションは他院を紹介している専門病院もあります。アブレーションを施行可能でも、外来担当の医師とPCIを行う医師、アブレーション担当の医師が別々である病院がほとんどで、患者さんにとっての不安の原因ともなっています。当院では、外来を担当する医師が治療に参加し、PCIにもアブレーションにも精通したチームが、治療を行います。

アブレーションにも合併症の可能性があり、十分な説明を受けていただく必要があります。アブレーションの説明を、2回にわたって2時間お話することもあります。その結果、アブレーションを受けない方針を選択される患者さんもおられます。病気のことと治療のことをよく知ったうえで、治療を選択いただきたいと思います。

心房細動は、早期の段階から高血圧、肥満、糖尿病などに対する積極的な介入が必要で、抗凝固療法を適切に行う必要があります。ある研究では、抗凝固療法の対象となる患者さんの半数程度しか適切な投薬を受けておられないという結果がでています。後遺症なく、元気なシニアライフのために、心房細動、不整脈と指摘をうけられた方はぜひご相談ください。

〈追伸〉近隣の大学病院では、治療までに3カ月以上の順番待ちがあるときありますが、脳梗塞を発症してからでは、手遅れとなります。当院では、基本的に1カ月以内に治療が可能で、入院期間も3泊程度が標準です。



富田 病院

受付時間：午前 8:30-11:30 診療時間：午前 9:00-12:00 ※第1週または第2週午前

診療科	月	火	水	木	金	土
循環器内科	岡田	富田	富田	岡田	富田	川島
		川島			岡田	※村上

京都博愛会病院

受付時間：午前 8:30-11:30 診療時間：午前 9:00-12:00

診療科	月	火	水	木	金	土
循環器内科		岡田		富田		

在宅医療制度が変わりゆく中、訪問看護の質が今後ますます注目されていくと予想されています。年の初めに「住み慣れた自宅で、その人らしく最期までこの言葉を痛感しました。」「生かされている」のではなく、「生きていく」と感じてもらえるだけの支援の在り方をこれからも皆様と模索していきたいと思えます。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



トピックス

開設二十周年目に
思いこむ

訪問看護ステーションはくあ

所長 橘 文子

日頃は訪問看護活動にご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。

当ステーションは今年で開設二十周年目を迎えます。これまでご指導くださった関係機関の皆様と、縁あって関わらせて頂いたご利用者様とご家族様に心からお礼申し上げます。

さて、お正月の積雪が溶け始めた日、ある方が自宅でその生涯を終えました。「案に逝けたらいいな...」その言葉通り、ろうそくが消えるような静かな最期でした。医師は小さなお孫さんに命の終わりを優しく告げました。私たちはこのように臨終に立ち会うことがあります。悲しみの中に命を慈しむ優しい時間が流れます。

昨年の診療報酬改定では、ターミナルケアの充実や重症者の受け入れに力を注いでいるステーションを高く評価する「機能強化型」が新設されました。

連携 医院紹介

中村内科クリニック

院長 中村 智恵

昭和25年に祖父が福山医院を開設し、現在まで約65年にわたり地域のみなさまの診療をさせていただきました。当院は上賀茂橋西詰からほど近い場所に位置し、以前から京都博愛会病院や富田病院の先生方、スタッフ様にはお世話になっており大変感謝しております。

平成26年11月より父からの継承を機に、中村内科クリニックと名称変更し、リニューアルオープンさせていただきました。病院勤務中は消化器内科、内科診療、健診業務を中心にやってまいりました。この度、夫のバックアップもあり、循環器領域もより専門的なアプローチができるようになりました。当院では、血液検査、心電図、レントゲン写真、超音波検査(頸動脈、心臓、腹部)、上部消化管内視鏡検査(苦痛の少ない鼻からも可能です)、24時間ホルター心電図、ABI検査(動脈硬化の程度を評価)などの検査が可能です。一般内科疾患に加え、消化器疾患、循環器疾患に対しても早期診断および早期治療を心がけております。

防医学にも取り組み、健康、病氣、栄養についての相談やアドバイスをを行い、患者様と一緒に病気にならない生活習慣を考えさせていただきます。リニューアルに伴い、医院名や建物は変わってしまいましたが、祖父から受け継いだ魂はそのままに、これからも地域のかかりつけ医としてより身近に、末永く親しんで頂けるクリニックを目指します。

ロゴマークにあります若葉が大地から芽吹き、青々と生い茂る様に、クリニックが成長し、患者様の立場やご家族様に寄り添った優しい医療の提供ができればと考えております。北区の基幹病院である京都博愛会病院、富田病院には今後もお世話になるかと存じますが、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

自院での対応が困難な場合は病診連携(病院と診療所)、診診連携(診療所と診療所)、介護、福祉連携(診療所と介護施設)や地域の診療所や病院への橋渡しを迅速に行っております。また健診や予防接種などの予



〒603-8103 京都市北区小山西北玄以町1番地
TEL:075-492-2374
◆駐車場あり
◆京都市営地下鉄北山・北大路駅より徒歩約10分

◎診療科: 内科・消化器内科・循環器内科 ☆診療内容: 内視鏡検査(胃カメラ)など

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00-12:00	○	○	○	△	○	○
午後 5:00- 7:00	○	○	○	△	○	○

※休診日: 木曜・土曜午後・日曜・祝日 ●火曜日: 循環器内科専門医

富田病院 循環器内科ドクター自己紹介

理事長 富田 哲也

昭和59年川崎医大卒、京大病院で研修医、国立姫路病院、滋賀県立成人病センター等で循環器診療後、京大大学院で循環器の研究と診療に携わり、平成7年より富田病院で診療しています。

平成12年より心臓カテーテル検査及び治療を開始し、最初は一人で行い大学から応援していただく事もありましたが、当院に岡田先生と川島先生に変わっていただき、いずれも経験豊富な知識と技術をもっておられ、小さい病院ですが協力して高度な循環器医療ができるようになりました。

一昨年、心カテ室も最新のアンギオ機器に更新され、また発作性心房細動のカテーテルアブレーションも月2回、第二、第四土曜日にできるようになりました。

冠動脈CTができる医療機関も増えましたが、当院のフィリップス製64列CTは心房細動など不整脈のある人や心拍の早めの人でも比較的きくに撮れます。また冠動脈壁の動脈硬化の状態もよくわかりますので、糖尿病などリスクのある人は早めの検査を勧めていただければ幸いです。

副院長 岡田 幾太郎

富田病院へは平成16年に赴任いたしました。以来早くも11年になります。その間近隣の開業医の先生方、病院・施設の先生方にも患者さまのご紹介、また退院後のご加療にと、大変お世話になっております。有難うございます。

出身は、先月に金沢まで新幹線が開通した北陸の石川県です。昭和58年に京都大学を卒業し、主に循環器内科の診療に携わってまいりました。富田病院でも循環器内科を中心に内科一般の診療を担当しております。外来は(月)(木)(金)の午前で、それ以外は病棟・検査業務等を行っております。ただ、(火)午前、(木)午後は他院にて診療に携わっているため不在となり、ご迷惑をおかけしております。

当院では、ご高齢の患者さまが多く、中には九十歳代までお元気で、狭心症・心筋梗塞・心不全などを患い、心臓カテーテル検査・治療を受

けられる患者さまもいらっしゃいます。しかしながら、認知症をはじめとして、種々の併存症をお持ちで、侵襲を伴う検査・治療が困難な患者さまや、希望されない患者さまも多くいらっしゃいます。それらの方々には、尊厳を守りながら、心身の負担の少ない、保存的な治療をできる限り行うよう心がけております。

また、救急指定病院ではない、一般病棟・地域包括ケア病棟・障害者病棟をもつ病院として、充実したりハビリ機能を活かすべく、救急病院での急性期治療後、退院するにはまだリハビリが必要な患者さまや、病状が十分安定していない患者さまも積極的に受け入れております。リハビリ・治療により、病状が安定したのち、患者さま・ご家族とも安心して自宅へ退院、また施設入所、他院への転院などが行えるよう、多職種のスタッフ一同で努力いたしております。今後ともご紹介の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

内科部長 川島 明代志

昭和61年京都大学卒業。日本内科学会認定内科専門医、循環器病学会専門医、インターベンション学会名誉専門医。

内科、循環器の診療をおこなっています。ステントを使った冠動脈形成術や、末梢血管形成術、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療、ペースメーカー治療に精力的に取り組んでいます。2年前には、血管造影装置を最新のものに更新し、さらに低被曝での検査治療が可能となりました。今年は、高性能CTのソフトをバージョンアップし、高精細な画像をより迅速に得ることができるようになり、外来での待ち時間の間に、患者さんに速報することが可能となりました。

ある患者さんが以前、急性心筋梗塞で受診され、私がカテーテル治療を担当いたしました。その後年月を経て不整脈を発症され、アブレーションを私が担当することができました。これからも、私が外来で診療させていただきます。専門分化する心臓病治療に関するワンストップ(ここで、基本的にすべて完結する)病院でありたいと思います。

質の高い診療を継続するために患者さんとともに健康でありたいと、軽登山を始めました。(シェイプアップのためという噂もあります。)ドラマのセリフのように「わたし、失敗しないので」と言いきれるだけの努力と研鑽を積んでいきたいと願っています。

京都博愛会病院
富田病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケン山1
<http://www.kyoto-hakuikai.or.jp/hakuai/>

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<http://www.kyoto-hakuikai.or.jp/tomita/>